

だい 13 課 おも 思わず・つい・うっかり

じぶん 自分にはそのつもりがなかったこと (2)

かく 隠れテーマ「てしまう」

「そのつもりはなかったけど、そうなった/そうした」

「そうしようとおもっていたけど、そうならなかった/そうしなかった」

- ・ つい お弁当箱の中身が気になっちゃって
- ・ 思わず 声が出ちゃった
- ・ うっかり 持って来るのを忘れちゃって

◎ 会話文の「思わず、つい、うっかり」文の文末が「てしまう」「ちゃう」の形になっている。

3 つとも「てしまう」と一緒に使うことが多い。3 つとも「自分にはそのつもりがない」というニュアンス (nuance) を持っていて、「てしまう」の意味と似ている。相性が良い。

1. おも 思わず

意味「思わないで、考えないで、無意識に、意識しないで」

衝動的な (impulsive) 行動、反射的な (reflective) 行動に使う。⇒ 心が動くまま、考える前に

1) 会話文の例

5 日目のシチュエーションには、

びっくりして、思わず 声が出ちゃった (言っちゃった) よ。ごめん。

⇒ 本当は言うつもりはなかったけど、5 日目の今日もシチュエーションが入っているお弁

当箱を見て、びっくりして、ヨッシーの気持ちも考えないで、反射的に 言った。

〈練習 1〉「思わず」を使って言いましょう。

例) 街を歩いていたなら、壁にバンクシー (Banksy) っぽい絵があったので、

反射的に 写真を撮ってしまった。

⇒ 街を歩いていたなら、壁にバンクシー (Banksy) っぽい絵があったので、

思わず 写真を撮ってしまった。

① 1万円が落ちていたので、

何も考えないで、反射的に拾って財布に入れてしまった。

②渋谷を歩いていたら、ユーチューバーが撮影しているのを見つけて、

何も考えないで衝動的に足を止めた。

③ライブの最後、歌手がステージを去るとき、興奮して、

衝動的に歌手の名前を叫んでしまった。

④大嫌いなライバル会社の広告を見つけて、

何も考えず反射的に破り捨ててしまった。

〈解答例〉

① 1万円が落ちていたので、**思わず**拾って財布に入れてしまった。

②渋谷を歩いていたら、ユーチューバーが撮影しているのを見つけて、
思わず足を止めた。

③ライブの最後、歌手がステージを去るとき、興奮して、
思わず歌手の名前を叫んでしまった。普通ならそんな恥ずかしいことはできない。

④大嫌いなライバル会社の広告を見つけて、**思わず**破り捨ててしまった。

◎「**思わず**」は何かがあったり、何かを見たりした後、

すぐに、すごく速く「何も考えないで」、次の行動をする感じ。

2)「**思わず**」の「てしまう」がある文とない文

例1) 道の向こうに知り合いが歩いているのを見つけて、

思わず「おーい」と { 手を振った ・ 手を振ってしまった }。

「**思わず**手を振った」〈行動〉

反射的に「手をふった」という意味。

「**思わず**手を振ってしまった」〈行動+「そのつもりはなかった」という気持ち〉

手をふるつもりはなかったけど、反射的に「手をふった」という意味。

(例⇒目上の人だったり、あまり仲良くない人だったから。)

例2) 街を歩いていたら、壁にバンクシー (Banksy) っぽい絵があったので、
思わず写真を { 撮った ・ 撮ってしまった }。

「思わず写真を撮った」〈行動〉

衝動的に「写真を撮った」という意味。

「思わず写真を撮ってしまった」〈行動+「そのつもりはなかった」という気持ち〉

写真を撮るつもりはなかったけど、衝動的に「写真を撮った」という意味。

(例⇒「写真を撮った」後、調べてみると、バンクシーの絵じゃなかったから。)

◎何かが起こって、何かをして、何かを見て、「思わず」何かを「する」。考えないで「する」。「てしまう」を使うのか・使わないのか。それは、その考えないでした行動の後に考えてみて、分かること。

〈練習2〉「てしまう」は必要ですか。必要じゃないですか。

①窓の外を見ると、空がきれいで、
思わず写真を { 撮った ・ 撮ってしまった }。

②カフェでひとりでコーヒーを飲んでいるとき、好きな音楽が流れてきて、
思わず { 口ずさんだ ・ 口ずさんでしまった }。

③歩いていると、すごく小さい子どもが1人でキョロキョロしていたのを見て、
思わず「大丈夫？ママは？」と { 声をかけた ・ 声をかけてしまった }。

〈解答〉①撮った ②口ずさんでしまった (日本)、口ずさんだ (文化によってはOK) ③声をかけた

2. つい

意味：不本意（ほんとうの自分の気持ちとは違うということ）

「～たいと思^{おも}っていないけど／いなかったけど、する／した」

「～たいと思^{おも}っているけど／いたけど、しない／しなかった」

* 『くらべてわかる 中 級 日本語表現文型ドリル』 p.136 (Jリサーチ出版、2012年)

「悪^{わる}かった、不注^{ふちゅうい}意^いだった」と後悔^{こうかい}する気^き持^もちを表^{あらわ}すが、同^{どう}時^じに「わざとやっ^やつた
のではない」と相^あ手^てに伝^{つた}える意^い味^みもある。

1) 会話文の例

ついお弁当箱の中身が気になっちゃって。

⇒人の食^{ひと}べる物^{もの}を気^きにするのは良^よくないこと・失^{しつれい}礼^{れい}なことだと分^わかっているから、
気^きにしたい^はない・気^きにするつも^りはな^いい。

わざとじゃないんだよ。しょうがなかったんだよ。

後悔^{こうかい}して^る、悪^{わる}かったなあと思^{おも}って^ることが分^わかる。

2) つい～てしまう

「つい」は「てしまう」の意^い味^みにすごく良^よく似^にている。

例) つい食^たべ過^すぎてしま^いう。つい買^かってしま^いう。つい言^いってしま^いう。

Present tense でいうと、「いつも」、何回^{なんかい}も同^{おな}じこ^くを繰^くり返^{かえ}している感^{かん}じ。

〈練習3〉続^{つづ}く文^{ぶん}を考^{かんが}えて、「つい～てしま^いう」の文^{ぶん}を作^{つく}りま^しよう。

①甘^{あま}いものを見^みると、_____。

②かわい^みいマ^みグを見^みつけると、_____。

③カ^いフェに行^いくと、_____。

④家^{いえ}にいと、_____。

〈解答例〉①つい食^たべ過^すぎてしま^いう ②つい買^かってしま^いう

③ついコーヒ^{しゃしん}ーの写^と真^とを撮^とってしま^いう ④ついゴ^ろゴ^ろしち^{やう}う

3) ついつい～てしまう

「ついつい～てしまう」は、「つい～てしまう」より、

「ダメだとちゃんと分^わかっているが」というニュアンスを感じ^{かん}じる。

例) 暇^{れい}な時間^{ひま}があると、ついついゲームをやっ^{じかん}てしまう。

本当^{ほんとう}は勉強^{べんきょう}をしなきゃいけないんだけど。

〈練習^{れんしゅう}4〉「つい」ですか。「ついつい」ですか。

①お腹^{なか}が空^すいているときに買^かい物^{もの}に行^いくと、ケーキとかチョコレートとか甘^{あま}いものを、
買^かうつもりはない、買^かいたくないけど⇒

{ つい ・ ついつい } たくさん買^かってしまう。

②救急車^{きゅうきゅうしゃ}のサイレンが聞^きこえると、

見^みるつもりはない、見^みたくないけど⇒{ つい ・ ついつい } 外^{そと}を見^みてしまう。

③一日^{いちにち}中^{じゅう}スマホばかり見^みていて、良^よくないって分^わかっているけど、気^きになって、

見^みるつもりはない、見^みたくないけど⇒

{ つい ・ ついつい } スマホを手^てに取^とっちゃう

④レストランでは、見^み栄^えを張^はって、

そんなにお金^{かね}も使^{つか}いたくないし、使^{つか}うつもりもないけど⇒

{ つい ・ ついつい } 高^{たか}いメニューを頼^{たの}んじゃう。

⑤強^{つよ}く誘^{きそ}われると、行^いきたくないし、行^いっても時間^{じかん}の無^む駄^だって分^わかっているけど⇒

{ つい ・ ついつい } 行^いってしまう。

〈解答例^{かいとうれい}〉①つい ②つい ③ついつい (良^よくないって分^わかっている)

④つい ⑤ついつい (行^いっても時間^{じかん}の無^む駄^だだ^{おも}って思^{おも}っている)

3. うっかり

意味：不注意で（注意が足りなくて、注意が足りなくて間違っ^{まちが}て）

1) 会話文の例

○スプーン^{まる}借りてきますね。うっかり^か持って来るの忘れ^{わす}ちゃって。

⇒スプーン^もを持って来ることを、注意^{ちゅうい}しないで、忘れ^{わす}てしまって
(いつもなら、いつもは忘れ^{わす}ないんだけど)

「いつもの自分^{じぶん}ならちゃんと考^{かんが}えるのに／気^きにするのに」

「いつもの自分^{じぶん}ならそうじゃないけど」というニュアンス (nuance) がある。

〈練習5〉「うっかり」を使^{つか}って自然な文を作^{つく}りましょう。

例) いつもの私^{わたし}はちゃんと気^きをつけているけど、
今日^{きょう}は不注意^{ふちゅうい}でBLマンガを机^{つくえ}の上^{うえ}に出^だしてきてしまった。

今日は家政婦^{かせいふ}さんが掃除^{そうじ}に来^くる日^ひなのに・・・。

⇒うっかり BL マンガを机^{つくえ}の上^{うえ}に出^だしてきてしまった。

今日は家政婦^{かせいふ}さんが掃除^{そうじ}に来^くる日^ひなのに・・・。

① いつもの私^{わたし}はちゃんと気^きをつけているけど、

今日^{きょう}は不注意^{ふちゅうい}で家^{いえ}の鍵^{かぎ}を閉^しめるのを忘れ^{わす}てきてしまった。

② いつもの私^{わたし}はちゃんと気^きをつけているけど、

今日^{きょう}は不注意^{ふちゅうい}で間違^{まちが}って口^{くち}が軽^{かる}い山本^{やまもと}さん^{じぶん}に自分^{はなし}の話^{はなし}をしてしまった

③ いつもの私^{わたし}はちゃんと気^きをつけているけど、

今日^{きょう}は不注意^{ふちゅうい}で大好き^{だいす}なアニメの最^{さい}終^{しゅう}回^{かい}の録^{ろく}画^が予^よ約^{やく}を忘れ^{わす}てしまった。

〈解答例〉①うっかり家^{いえ}の鍵^{かぎ}を閉^しめるのを忘れ^{わす}てきてしまった。②うっかり口^{くち}が軽^{かる}い山本^{やまもと}さん^{じぶん}に自分^{はなし}の話^{はなし}をしてしまった。③うっかり大好き^{だいす}なアニメの最^{さい}終^{しゅう}回^{かい}の録^{ろく}画^が予^よ約^{やく}を忘れ^{わす}てしまった。

4. 使い分け

- 1) 今日は友だちとの待ち合わせ時間を① { 思わず ・ つい ・ うっかり } 1時間間違えちゃって、18時に着いてしまった。いつもはファストフードの店には行かないんだけど、すごく暑かったから、目の前に見つけたマクドナルドに② { 思わず ・ つい ・ うっかり } 入って、1時間そこで待つつもりだった。でも、前の日仕事で疲れていて、寝るつもりはなかったけど③ { 思わず ・ つい ・ うっかり } 寝てしまった。目を覚ましたのが、20時。友だちに怒られてしまった。
- 2) 昨日、仕事の帰りに偶然大学時代の後輩に会って、① { 思わず ・ つい ・ うっかり } 飲みにも誘っちゃった。でも、今日は朝5時起きだったから、1、2時間飲んで解散するつもりだったんだけど、楽しくて、飲んでいるうちに、そのことを② { 思わず ・ つい ・ うっかり } 忘れて、③ { 思わず ・ つい ・ うっかり } 終電まで飲んじゃった。思った通り、今朝寝坊しちゃったよ。

〈解答〉 1) ①うっかり ②思わず ③つい¹ 2) ①思わず ②うっかり／つい ③つい／うっかり²

5. まとめ

「思わず」「つい」「うっかり」

- ① 3つとも「てしまう」と相性^{あいしやう}が良い。
- ② 「思わず」は「思わないで、考えないで」の意味。衝動的・反射的な行動^{こうどう}に使う。
- ③ 「つい」は「不本意^{ふほんい}」。本当の自分の気持ちとは違う。だから、「そうしたいと思っていない／いなかったけど、する／した」「そうしたいと思っている／いたけど、しない／しなかった」というときに使う。「つい～てしまう」、「ついつい～てしまう」。
- ④ 「うっかり」は「不注意で、注意が足りなくて間違^{まちが}って」。「いつもの自分ならちゃんと考えるのに／気にするのに」「いつもの自分ならそうじゃないけど」という意味がある。いつも注意^{ちゆうい}していないことには使えない。

¹ 友だちとの約束があると分かっているが、疲れに負けて「寝てしまった」ので「つい」。約束を忘れて寝てしまったのなら、「うっかり」と言ってもいい。

² 2) 「②うっかり忘れて、③つい終電まで飲んじゃった」は、「注意が足りなくて忘れてしまって、(はじめは)そんなに長い時間(終電まで)飲みたくなかったけど飲んでしまった」という意味。「②つい忘れて、③うっかり終電まで飲んじゃった」は、「忘れたくなかったけど忘れてしまって、注意が足りなくて終電まで飲んでしまった」という意味。「楽しくて」というコンテキストがあるので、どちらの文でも問題ない。

5. 会話文

かいわ
会話

ことば

弁当箱 (べんとうばこ) 〈名詞〉 お弁当を入れる箱。lunchbox。

中身 (なかみ) 〈名詞〉 中にあるもの。

季節外れ (きせつはず) 〈名詞・な形〉 その季節に合っていないこと。

ビシソワーズ (vichyssoise) フランス料理の1つ。ジャガイモの冷たいクリームスープ。

季節感 (きせつかん) 〈名詞〉 季節の感じ。

冷やし中華 (ひやちゅうか) 〈名詞〉 麺料理。冷やした麺の上にきゅうり、ハム、卵などの具をせん切りにしてのせて、たれをかけて食べる。夏によく食べられる。

似て非なるもの (にひなるもの) 見た感じは似ているが、全然違うもの

買い得 (かどく) 〈名詞〉 いつもより安いので、買うと得をすること

小食 (しょうしょく) 〈名詞・な形〉 食べる量が少ないこと

ことばを 確認してみよう！

意味を 考えながら、1)～3)の文を読んで、習ったことばに線を引きましょう。

- 1) 蛾も蝶も空を飛ぶ虫だけど、蛾は蛾であって、蝶じゃない。似て非なるものだよ。
- 2) 小食だから、ピザ1枚を1人で全部食べるのは、ちょっと無理です。
- 3) 夏にキノコを食べるのって、季節外れな感じがする。
- 4) 会社から小さい箱のプレゼントをもらったんだけど、中身はボールペンだった。

これ、意味が解りますか

なくはない・・・「あり得ないことはない」「小さい可能性はある」という意味。

季節感のほう、クリアです・・・先輩に①5日も続けてお弁当を食べる人を初めて見た ②夏にシチューを食べることを「季節外れだ」と言われ、このシチューは冷たいから、「②のほうの問題は解決している」という意味で言っている。

クリア 〈名詞／する〉

・・・問題・障害・困難を消してなくすこと、課題・目標・目的を達成すること など

例) ゲームをクリアする、CO2排出削減目標をクリアできなかった

きんようび かいしゃ しよくどう せんぱい こうはい べんとうばこ あ
金曜日、会社の食堂で 一先輩と後輩がお弁当箱のふたを開けるところー

A: いただきま〜す。えっ、え、え、え！また？昨日もさ、「えっ、またシチュー？」って思っ
ちったんだけど、4日目はなくはないかと思って、聞かなかったけどさ、今日はどうな
んだろうって、ついお弁当箱の中身が気になっちゃって。5日目のシチューには、びっく
りして、思わず声が出ちゃったよ。ごめん、(いえ、全然いいです。)こんなに連続で目の
前でシチュー食べる人、初めて見た。しかも、こんな暑い日に季節外れのシチュー。

B: あっ、ちょっと待ってください。スプーン借りてきますね。

うっかり持って来るの忘れちゃって。

B: ただいま〜。そうそう、これね。これ。冷たいんですよ。冷たいシチューはね、ビシソー
ズ (vichyssoise) の兄弟みたいなものだから、季節感のほう、全然クリアです。

A: 冷たいシチューなんて、食べたくないな。溶けたアイスクリームは、溶けているけどアイ
スクリームであって、マックシェイクとは呼ばないでしょ。冷めたラーメンを、「はい、冷
やし中華。冷たくておいしいよ」って言わないでしょ。冷めたシチューとビシソワーズは
似て非なる物。シチューのイメージ無視しちゃってるよ。

B: 私、小食なんです。(知ってる。あんまり食べないよね。で?) 先週金曜の夜、スーパ
ーに行ったら、シチューがお買い得で一箱98円だったから、思わず買っちゃった。最近暑
いけど、まあ、冷たくして食べればいいやと思って(そこよくわかんないけど。)全部作っ
ちゃった。(一箱って5皿分とかだよ。) うん、週末で、5皿なら全部食べられるかなあ
って。自分小食だっていうのをうっかり忘れちゃってですね。

A: つい作りすぎてしまったのか。冷凍すればよかったんじゃない??